

自動車事故報告書

国土交通大臣 ○○○○ 殿

自動車の使用者の氏名又は名称

国土運輸株式会社

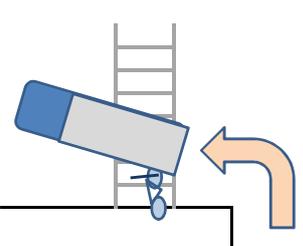
住所

広島市中区上八丁堀6番30号

電話番号

(082)-228-9141

令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 提出

☆発生日時	令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 ○○ 時 ○○ 分	☆路線名又は道路名	県道262号 道 線
天 候	①晴れ 2曇 3雨 4雪 5霧 6その他		
☆発生場所	広島 都道府県 広島 区市郡 西区○○○町△丁目 □番地		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		☆自動車登録番号又は車両番号	
広島営業所 広島市西区観音新町四丁目13-13-2 <small>事故車両の自動車検査証の使用の本拠の名所及び位置を記載</small>		広島100か○○○○ <small>連結車両の場合は、上段にトラック、下段にトレーラを記載</small>	
☆当時の状況			
県道262号北方から南方へ向かい広島西飛行場交差点を信号機に従い左折したところ自転車が横断し始めたため急ブレーキをかけたが自車後輪に引っかけ自転車を転倒させた。 自転車に乗っていた方は、転倒したはずみで左腕、ろっ骨を骨折した。 <small>事故の発生に係る状況をわかりやすく記載して下さい。</small>			
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）			
 <small>事故現場の見取り図をわかりやすく記載して下さい。 道路形状、車線の区分を図示して下さい。 別用紙に記載しても結構です。</small>			
☆当時の処置	運転者は、トラックをその場でハザードランプを点け止まり、転倒した方を助け起こし、歩道へ連れて行き、救急車の手配を行った。		
☆事故の原因	左折時の横断歩道者の確認不良		
☆再発防止対策	交差点での右左折時の横断歩道手前での一旦停止と横断歩道者の確実な確認の実施を全運転者に指導した。 <small>御社の事故の再発防止を記載して下さい。</small>		
※備考	記入しない		

事故の種別	区分	1 転覆	2 転落	3 路外逸脱	4 火災	5 踏切	6 衝突	7 死傷	8 危険物等	9 車内	10 飲酒等	11 健康起因	12 救護違反	13 車両故障	14 交通傷害	15 その他	☆ 危険認知時の速度	10 km/h		
	☆ 発生順	2種類以上の事故が生じたときには、「発生順」の欄に番号を記入															☆ 危険認知時の距離	タコチャート、運転者の証言、現場検証により記載	5 m	
	☆ 転落の状態	落差 m										水深 m					☆ スリップ距離	3 m		
	衝突等の状態	1 正面衝突 4 接触		2 側面衝突 5 物件衝突			3 追突						当該自動車の事故時の走行等の態様	1 直進 (加速) 2 直進 (減速) 3 直進 (定速) 4 後退 5 追越 6 右折 7 左折 8 駐車 9 停車 10 転回 11 合流 12 その他						
	☆ 車名	☆ 型式	☆ 車体の形状		☆ 初度登録年又は初度検査年												道路上での事故の場合には事故発生地点	1 車道 2 歩道 3 横断歩道		
	〇〇〇	△△-△△△△	バン		平成21年												人、自転車との事故の場合記載	1 左側通行 2 右側通行 3 信号無視 4 車道通行 5 歩道通行 6 横断歩道歩行 7 車の直前横断 8 斜横断 9 飛び出し 10 酷酩 11 路上作業 12 路上遊戯 13 乗降中 14 安全地帯 15 自転車運転 16 その他		
	事業用	1 乗合旅客 3 乗用旅客 5 一般貨物 (イ特別積合せ貨物 ロその他) 6 特定貨物		2 貸切旅客 4 特定旅客 ロその他 7 特定第二種												車両故障による場合記載	1 原動機 (速度抑制装置を除く) 2 速度抑制装置 3 動力伝達装置 4 車輪 (タイヤを除く) 5 タイヤ 6 車軸 7 操縦装置 8 制動装置 9 緩衝装置 10 燃料装置 11 電気装置 12 車枠及び車体 13 連結装置 14 乗車装置 15 物品積載装置 16 窓ガラス 17 騒音防止装置 18 ばい煙等の発散防止装置 19 灯火装置及び指示装置 20 反射器 21 警音器 22 視野を確保する装置 (後视镜、窓ふき器等) 23 計器 (速度計、走行距離計等) 24 消火器 25 内圧容器及びその附属装置 26 運行記録計 27 その他			
	自家用	1 有償渡し (レンタカー) 2 有償旅客運送		3 その他												車両の故障に起因する場合には故障箇所				
	種別	1 普通		2 小型					3 その他						☆ 乗車定員	2 人	☆ 当時の乗車人員	1 人		

当該自動車の概要	☆ 最大積載量	4,250 kg	☆ 当時の積載量	4,000 kg
	許可等の必要性	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和	1 有 2 無	1 有 2 無
	許可等の取得状況	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和	1 有 2 無	1 有 2 無
	貨物の場合、該当事項を記載	砂等 2 長大物品等 3 コンテナ コンクリート 5 危険物等 6 冷凍、冷蔵品 7 原木、製材 8 引越 9 その他		
	積載の有無	1 有 2 無		
	種類	1 危険物 2 火薬類 3 高圧ガス 4 核 5 RI 6 毒劇物 7 可燃物		
	☆ 品名及び積載量又は放射能の量	品名 () kg, l () Bq		
	イエロカードの携行状況	1 有 2 無		
	種類	1 道路 (イ高速自動車国道 ロ自動車専用道路等) 2 その他		
	☆ 道路の幅員	路肩部分を含む総幅員 約 30 m		
こう配	1 平たん 2 上り 3 下り			
道路の形態	1 直線 2 右曲り 3 左曲り 4 交差 5 つづら折り			
路面の状態	1 乾 2 湿 3 積雪 4 氷結			
警戒標識の設置	1 有 2 無			
☆ 踏切の状態	1 遮断機付き 2 警報機付き 3 その他			
☆ 当時の運行計画	(発地・経由地・着地) 広島営業所出発 → 廿日市 (積込) → 山口県山口市 (荷卸) ~休憩~ → 美祿市 (積込) → 広島市南区宇品 (荷卸) → 帰庫			
☆ 運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等 (貸切旅客のみ)	貸切バスの場合記入			
安全性優良事業所の認定 (貨物のみ)	1 有 2 無			
運送形態	1 下請運送 2 その他			
☆ 荷送人の氏名又は名称及び住所	貨物の場合記入 △△冷凍食品 広島市西区観音新町			
☆ 荷受人の氏名又は名称及び住所	〇×ディスカウントスーパー 広島市南区△△			

乗務員	☆ 氏名	〇〇〇△△△		
	☆ 年齢	30 才		
	☆ 経験年数	3 年 3 月		
	自動車運転を職業とする者にあつては勤務状況	本務・臨時の別	1 本務 2 臨時	
	☆ 事故日以	前1ヶ月間に出勤しなかった日数	6 日	
	☆ 乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離	6 時間 300 km		
	☆ 最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計	勤務日数	4 日	
	乗務員の傷亡	1 死亡 2 重傷 3 軽傷		
	運転者の情報を記載 車両故障の場合不要です。	1 着用 2 非着用 3 非装備		
	☆ 交替運転者の配置	1 有 (交替後の乗務時間及び乗務距離) 2 無		
☆ 過去3年間の事故の状況	(過去3年間の事故件数) 1 件 (最近の事故年月日) 平成22年 9 月 1 日			
☆ 過去3年間の道路交通法の違反の状況	(過去3年間の違反件数) 1 件 (最近の違反年月日) 平成22年 3 月 31 日			
☆ 過去3年間の適性診断の受診状況	1 有 (最近の受診年月日) 平成22年 9 月 15 日 (適性診断受診場所) 事故対策機構広島			
☆ 最近の健康診断の受診年月日	(最近の受診年月日) 平成22年 9 月 9 日			
本務・臨時の別	1 本務 2 臨時			
損害の程度	1 死亡 2 重傷 3 軽傷			
シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備			
☆ 運行管理者	運行管理者	氏名 〇〇〇〇		
☆ 運行管理者資格者証番号	当該事故の責任運行管理者	△△△△△		
☆ 運行管理者資格者証番号	続括運行管理者	△△△△△		
☆ 運行管理者資格者証番号	運行管理者資格者証番号	広島物第〇〇号		
☆ 運行管理者資格者証番号	運行管理者資格者証番号	広島物第△△号		
☆ 損害の程度	◆死亡	人 (うち乗客 人)		
☆ 損害の程度	◆重傷	1 人 (うち乗客 人)		
☆ 損害の程度	軽傷	人 (うち乗客 人)		
※ 事業者番号	記入しない			
※ 再発防止対策	記入しない			